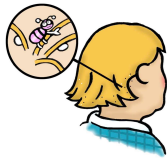


感染症



Pediculosis (アタマジラミ)

重要ポイント

- アタマジラミは学齢児童に多く見られ、赤ちゃんにはまれ
- アタマジラミを見つけるのは容易ではないが、髪の毛に卵が付いているのが見える
- シラミ取りローションやシャンプーを指示通りに使用し、一週間後に再度行う
- コンディショナーを使うとシラミ取り用の櫛で卵や成虫を取りやすくなる
- コンディショナーとシラミ取り用の櫛は髪に卵が見えなくなってから使用
- 家庭内感染を防ぐため、感染している家族全員が治療を受ける
- 櫛、ブラシ、ヘアバンドを共用しない

症状

アタマジラミは羽の無い虫で、感染すると頭にかゆみを覚えます。人間の血を吸い、後頭部、頸部、耳の後ろなどの頭髮に生息して卵を産みます。ほとんどの人はシラミと卵にアレルギー反応を起こし、これがかゆみの原因となります。搔くと頭皮が炎症を起こして赤変（もしくは紫色または茶色）し、体液が滲出したりかさぶたになったりします。

全ての人がアレルギー反応を起こすわけではありません。反応が無い人はかゆみ等を覚えず、シラミの存在に気づかないことがあります。

アタマジラミに感染する危険がもっとも高いのは学校や幼稚園、保育所に通う子供達です。髪の毛の頭皮に近いところにシラミか卵が付いているのを発見して感染が分かります。ふけと異なり、卵は通常の櫛では取れません。

シラミは頭皮に生息し、髪の毛に卵を産みます。大きさは針の頭くらいで、通常一人に8から10匹しかいないので、成虫を発見することは困難です。しかし、卵は数百個あり、髪の毛に付着しているので発見が容易です。頭どうしが接触したり、帽子や櫛、ヘアバンドを共用することで人から人へ感染していきます。シラミは人間から離れたところでは数分間しか生存できません。

予防法

家庭内感染を防ぐため、感染している家族全員が治療を受ける必要があります。櫛、ブラシ、頭に着用する物は共用してはいけません。ブラシと櫛は熱湯で洗い、よく乾かします。

治療法

アタマジラミ治療用の商品は、子供の髪にシラミまたは卵が見えている場合

Japanese – Pediculosis (Head Lice)

にのみ使用します。アタマジラミの有無を調べるためには通常のコンディショナーとシラミ取り用の櫛を用います。これはは治療にも有効です。

コンディショナーと櫛の使用法は、まず、シラミ取り用の櫛で乾いた髪に根元から先に向かってコンディショナーを付けます。付いてきたシラミや卵を取るために、櫛に付いたコンディショナーをティッシュでふき取りながら部分ごとに続けます。一区分につき最低5回梳きます。櫛にシラミや卵が見えなくなったら頭全体をお湯ですすぎます。髪の毛に生きた卵が残っていれば再発する可能性があります。この方法で毎週検査しましょう。

アタマジラミ治療用のローションやシャンプーが何種類か発売されており、薬局で入手できますが、小さい子供や妊婦には不適なものもあるので、薬剤師とよく相談して下さい。説明書の指示に従って使用すると効果が期待できます。シラミと卵を完全に除去するために、通常一週間間隔で二回治療するようになっています。

シラミを除去した後も一週間くらいかゆみが残ることがあります。搔くと頭皮が炎症をおこし、体液の滲出、リンパ腺の腫れ、軽度の発熱を起こす場合があります。そのような場合はかかりつけの医師の診察を受けて下さい。

治療の効果を確かめるために、薬剤治療の後も数週間は毎週「コンディショナーと櫛」方式で検査することが大事です。

より詳しい情報の入手先：

母子健康看護師

薬剤師

かかりつけの医師

皮膚科専門医